

# 第43回 『あいおの会』

## - 失語症友の会 -

### 1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

### 2、第43回「あいおの会」

平成26年11月2日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様6名とご家族様2名、言語聴覚士5名、また今回初めて見学に来られた方が2名と当院に入院中の患者様1名が参加し16名の方々が集まりました。いつもご参加されてる方々だけではなく、初対面の方もいらっしゃったので、少し緊張したムードで始まったあいおの会ですが、いつの間にか笑顔でいっぱいになっていましたね。

今回は、文字当てゲームと魚釣りクイズの2つを行いました。文字当てゲームは難しかったですですが、たくさんの言葉を思い出すことが出来ましたね。魚釣りクイズは、鯛や海老、大きい物ではマンボウやウミガメなどを釣っている人もいましたね。魚の後ろに書かれている問題にも、しっかり答えることが出来て、お魚フェスティバルは大成功でした。

最後には、秋を感じさせる「七つの子」「夕焼け小焼け」を歌いました。これから、だんだんと肌寒い季節になってきますが、皆さん、風邪を引かないように気を付けてくださいね。

次回は平成27年2月1日(日)13時から、

国際医療福祉大学熱海病院 地下大会議室で行います。

